



63-242054

Cited Reference No.13 in PCT/IPEA/408

Laid-open Patent Application No. 63-242054 laid open on October 7, 1988

Patent Application No. 62-74218 filed on March 30, 1987

Applicant: Cannon Kabushiki Kaisha

Inventor: Takahiro SAKAMOTO

Title: Communication Unit

Claim:

1. Communication Unit provided with:  
means for input of characters or marks;  
means for generating character or mark code based on the input from said input means;  
means for converting the output code from said code generating means into audible voice signal by synthesis of voice; and  
means for transmitting the output voice signal from said converting means to a communication channel.

Reference numerals in drawing figures:

1...telephone set	2...ten key
3...receiver	4...manual written character input
5...microcomputer	6...voice transmission circuit
7a,8...ROM	7...voice synthesis circuit
10...changeover switch	
11...terminal unit	13...keyboard
N...telephone line	



次に、ステップ 5 において入力された文字コードを音合成回路 7 に入力し、ROM 7 に記憶された音声情報に基づき音声合成を行わせる。ここで、入力された文字は可聴音声信号に置き換える。例えば、手書文字入力装置 4 から文字「あ」が入力された場合には、この文字は「あ」の音声に置き換えられる。

の音声に置換される。

合成された音声はステップS7で、音声処理回路6を介して電話回路Nに送られる。以上の手順は、ステップS8において所定の終了条件が行われるまで繰り返される。

以上の構成によれば、手書き文字入力装置4によって入力した文字を可聴音声情報として相手機へ送り、電話機1と手書き文字入力装置4を一体化し、電話回路6を介して電話回路Nに接続する。図5図は第4図の構成における制御系の構成を示している。手書き文字入力装置4、マイクロコンピュータ5、音声合成回路7、ROM7、8は第1変換例と同一の機能を有するもので、手書き文字入力装置4の筐体14に収納される。

に注意することである。発生不可知であるいは不自由な人でも自己の覚悟を音声として表現し、発話相手に伝えることである。また、相手周知に注意された音声発話者は、発話距離をい

で聞くことができる。

以上では、手書き文字入力装置４と電話機１と一  
以上はタミーナル校図に以上の場合、発呼はタミーナル校図

111の切込スイッチ10を第4図、第5図の符号「TE L」側に切り換え、ダイヤル12を用いてダイヤリングを行うことよって可能である。

回線状態が成立したら、切込スイッチ10を第4図、第5図の「O P」側に切り換えることによつて音声合成回路7を回線に接続できる。この状態で、マイクロコンピュータ5に第3図のステータス4～58の処理を行わせることによつて手書き文字入力装置8に入力された文字情報を音声信号に変換し、電話回線Nに送信できる。相手局の番号に合致し、電話回線Nの通話装置3を用いて聞くの音声信号は電話機1の通話装置3を用いて聞くことができる。この場合には、ターミナル装置111の切込スイッチ10を「TE L」側に切り換える。

以上の場合によれば、通常の電話機に手動文字入力装置とターミナル装置とを接続するだけで、従来の構造を利用して空欄に通信システムを構成できる。以上の構成において、電話線にはプッシュボタン式のものを用いても構わない。

### 第3 实践例

コンピュータの制御プログラムを簡略化してコストダウンを図るとともに、またマイクロコンピュータの処理速度を向上させることができる。

【映 像 6 号】

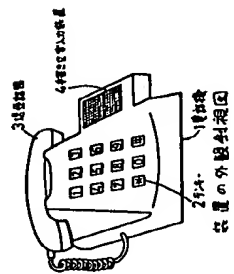
以上の説明から明らかなように、本発明によれば、文字をいし記号の入力手段と、この入力手段からの入力に基づき文字をいし記号コードを発生する手段と、このコード発生手段の出力コードを音声合成により可能音声符号に変換する手段と、この可変換手段の出力音声符号を記憶回路に格納する手段とを設けているので、文字入力手段から入力した文字をいし記号コードを音声符号として記憶して送信するため、発生が不自由な思想に受換したものであっても、相手局と音声による通信を行なうという優れた効果がある。

4. 図面の描き方と読み方

第1図は本発明を採用したた外置式装置、第2図は第1図の構成例を示したた外置式装置、第3図は第1図は本発明を採用したた外置式装置の第1の実

特許出願人 ヤマノン株式会社

代理人 勞士加 國庫 卓



第一圖

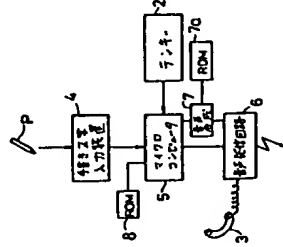
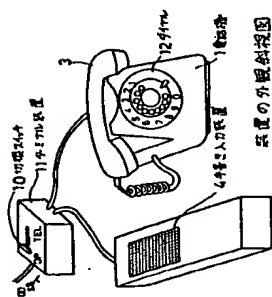
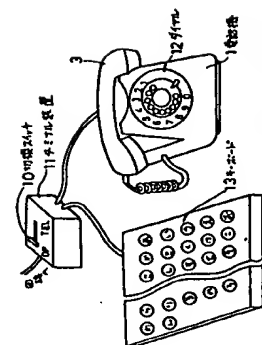


Figure 1

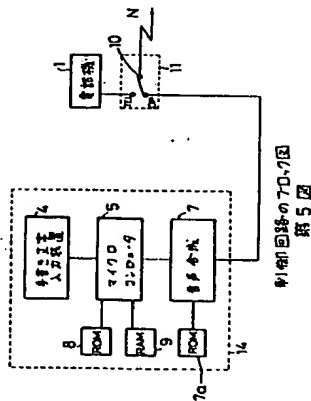
第3圖



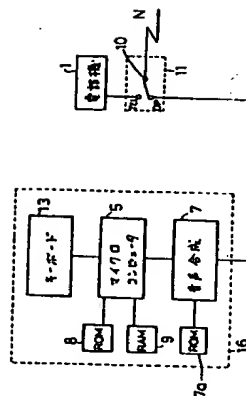
装置の外観接続図  
第4図



装置の外観接続図  
第6図



制御回路のブロック図  
第5図



制御回路のブロック図  
第7図